



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2008年11月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL
代表者 渡辺 京子(会長) 11161-35Ave, Edmonton, Alberta, T6J 3M6 TEL: 434-6044
借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<会長からのメッセージ>

あっという間に、今年も、残すところあと一ヶ月になりました。光陰矢のごとし。

NHKで放送中の篤姫も佳境に入ってきており、今まで、歴史の教科書でみていた、「無血開城」の成り行きが、このドラマのお陰で、具体的な事象として頭に入ってきています。西郷隆盛と勝海舟が向かい合って座っている写真か、絵は、未だに頭に残ってはいるものの、日本史の成績の芳しくなかった私には、前後のつながりなど、さっぱり分かっていませんでした。物語の真偽は100%とはいえないようですが、少なくとも、人が時間と共に動く生ものの歴史は、納得して頭の中に入ってくるようです。つまり、学ぶときには、頭の中の納得スイッチが入らないと、なかなか身につかないのではなからうか、と、やんや、やんやと我が子に言いつつ思う、今日この頃です。

なにかと、気忙しい師走になりますが、皆さん、体調に気をつけて、楽しくいきましょう。

渡辺 京子



<校長からのメッセージ>

おそらく例年通り厳しい寒さになるであろうエドモントンの冬を前に、毎日過ごしやすい日々が続いた11月でした。

今月は、二学期いえ年度を通して最大ともいえる行事、学芸会に向け、どの学年も一所懸命練習してまいりました。毎年、生徒たちは学芸会の練習を通して学んだ日本語の言い回し、またそれを暗記し集まった多くの観客の前で、感情を込めながらまたは演技しながら披露しています。こんな刺激のある言語学習がほかにあるだろうかと補習校で長く続く学芸会(の練習)を感じながら見えています。皆様がこのニュースレターをお読みになるときは、もう学芸会が終わっているのですが、生徒、そしてその保護者の皆様が、達成感の余韻に浸っている、そんな状況であってほしいと願っています。学芸会につきましても、また来月のニュースレターでも触れたいと思っています。

さて校長不在でスタートしました2008年度のエドモントン補習校ですが、11月から、私、坂口 宗(はじ

め)が校長に、そして 長倉 由紀子先生が副校長に就任いたしました。皆様よろしくお願いたします。不在の間いろいろご不便があったと思います。これからは、お気軽にお子様もしくは補習校のことでの質問、相談等いつでもご連絡ください。

12月は三回しか授業がありませんが、各クラスでは個人面談が行われます。これは、来年度の進級に関して担任と保護者が話し合うことがメインとなります。また、この機会に生徒の家庭での様子や勉強の進め方などを伝えていただくと私ども教師の参考になります。短い時間ではありますがこの機会をぜひ有益にご利用ください。

補習校は、進級に関する判断の基準というものがあります。最大の学力判定の目安としているのは漢字テスト、単元テスト等で合格点(60%以上)が取れているかということです。それに加え、きちんと授業参加(授業で教師の指示が理解できる、教科書を音読して理解できる等)ができているかどうか、宿題を毎週提出しているかどうか問われます。そういったことを踏まえうえで、お子様の補習校での進級を考えると、担任の教師の意見を最大限に尊重していただければと思っております。私ども教師一同、週一回の授業日以外でも常に受け持ちの子どもたちのこと、もしくは次の授業展開、宿題について頭を悩ませ、そして教師間でもそのことをよく話し合っております。進級に関しましても保護者の皆様の関心が高いと同様、教師会でも折につけ全体で話し合いをしています。そうした教師達と保護者の方々で話し合いをすることで少しでも、お子様/生徒にとって「日本語を学ぶ」という最適な場所の提供を実現していきたい、そう思っております。もしかしたら、無理せずにもう一度同じ学年を繰り返すことがいいのでは、つまり「ゆっくりコース」を選択されたほうがいいのではと提案があるかもしれません。「日本語の力を着実に身につけていこう」という究極のゴールのためにはそれが近道だったりするかもしれません。とにかく保護者と教師がコミュニケーションをとることは「家庭と学校が一緒になって生徒の日本語の勉強をすすめる」という大前提においてもっとも大切なことだとおもわれます。繰り返しになりますが、ぜひこの機会、いろいろ話をさしてください。お願いたします。不明な点などありましたらいつでもご連絡ください。

このエドモントン補習校は、さまざまなバックグラウンドの子どもたちが「日本の学校に戻っても/行っても十分に通じる日本語の力を身につけていこう」という目標のもと、生徒、その家庭、役員会そして教師、が一体となって教育にあたるところに最大の魅力があると思っております。今一度、この部分を再確認し二学期最後の月を

充実したものにしましょう。皆様のきめ細かなサポートに感謝しつつ、これからも、変わらぬご支援よろしくお願いたします。

校長 坂口 宗

<役員会からのお知らせ>

教師会より、以下の要望があり、役員会が承認いたしました。休退学については、以下の規則を守ってください。また、休退学の場合は、担任、校長、副校長に必ず、御相談下さい。

退学・休学について

休学＝復学の時期がしっかり決まっているもの。

退学＝復学の時期が未定の場合のすべて。

休退学の時期について

やむを得ない事情（転居など）を除いて、学期は全うし、その後休退学する。

役員会

<図書係よりお知らせ>

小学2年生と4年生のお子様を持つ、小林さんから、子供たちが漢字に接する機会を増やすいいアイデアをいただきました。その名も“漢字テーブルマット”。漢字ポスターをカラーコピーし、それをラミネートするだけです。小林さんより漢字ポスターをしばらくお借りしていますので、作って見たい方は、図書係りロペスまで連絡して下さい。また、昨年度の、図書室引越しの際に、預かっていた大人のビデオ、本をまだ家で保管してくださっている方がいらしたら、図書係ロペス (kazumi lopez@yahoo. co. jp) までご連絡下さい。

図書係 ロペス

<「おめでとう！」コーナーへの投稿のお願い>



「おめでとう！コーナー」は、補習校生徒ならびに会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称えていくコーナーです。コンテストで入賞した、所属しているスポーツチームで著しい活躍を遂げた、などなど、いいニュースを募集しています。自薦・他薦どちらでも結構ですので、フランキウイズまでお知らせ下さい。



<12月, 1月の当番 / Parent Duty shifts for Dec. and Jan.>

11月28日(金) (Nov. 28 Fri.)	大場、岡 (Oba, Oka)
12月5日(金) (Dec. 5 Fri.)	星、酒井 (Hoshi, Sakai)
12月12日(金) (Dec. 12 Fri.)	ヴァン、永田 (Van, Nagata)
12月19日(金) (Dec. 19 Fri.)	大堀、ライバック (Ohori, Rybuck)
1月9日(金) (Jan. 9 Fri.)	ヒューストン 朝居 (Huston, Asai)
1月16日(金) (Jan. 16 Fri.)	スワロー ザヴァルスカ (Swallow, Zavorska)
1月23日(金) (Jan. 23 Fri.)	フェドロウ 坂口 (Fedrau, Sagaguchi)
1月30日(金) (Jan. 30 Fri.)	阿部 増田 (Abe, Masuda)

当番の変更がありましたら、お早めにダンウォルドまでお知らせ下さい(437-3457)。

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当のフランキウイズ (yfrankiewicz@yahoo.com) までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 渡辺 京子
編集 フランキウイズ